

「宮崎銀行ふるさと振興助成事業」の受賞先は今

～既往受賞企業からの発信～

【第14回】



平成18年度 ベンチャー企業部門 受賞

えびの電子工業株式会社（えびの市）

代表取締役 津曲 洋一

創業より42年。

社員一人一人の人格を尊重し、全員参加で豊かさを創造すると共に、地域社会の発展に貢献する事を理念としています。

所在地：宮崎県えびの市大字上江670番地
TEL 0984-33-5060

1. 当社のあゆみ

当社は昭和50年11月、えびの市において電子部品製造業として創立しました。創立当初より、大手メーカーの協力企業としてセラミックスをベースにした各種電子部品や自動車部品の生産を行っています。また、省力化機器・ソフトウェアの開発、製造、販売も手掛け、時代のニーズに即応した生産体制を確立すべく、誘致企業として県内外に生産拠点となる工場を開設して参りました。今では全6工場、従業員総数663名にて生産活動を行っております。



部品生産の作業風景

生産拠点一覧表

昭和50年	本社工場（えびの市）
昭和58年	小林工場（小林市）
平成7年	都北工場（都城市）
平成9年	早鈴工場（都城市）
平成19年	三股工場（三股町）
平成27年	湧水工場（鹿児島県湧水町）

2. 『システム開発部』の設立

平成18年12月、当社が製作した「ラッキョウ自動切断装置」により、「宮崎銀行ふるさと振興助成事業」のベンチャー企業部門を受賞させて頂きました。その製作の中心となった『システム開発部』につきまして、設立当初からご紹介をさせて頂きます。

『システム開発部』は、創業から数年後、電子部品の量産製造ラインで生産作業を行っていた従業員（元機械整備経験者）の声を受けて、中古の溶接機を購入した事から歩みをスタートしました。

「よそに頼めば高くつくから…」と、設備のちょっとした修理を中古溶接機で

行う様は「小さな鐵工所」と呼ばれ、当時金属製の部材を加工して作成した長機の作業テーブルは、40年近くたった今でも現役で使用されています。

修理を行う過程で、「こうやれば作業がもっと楽になるのではないか？」と考え、無償で試作機を制作して提案を行う事になりました。その提案内容とは、「電子部品の個片分割機」。予算が無く、ベルト部分は使用済みスキー（製造現場で使用するウレタン製のゴムヘラ）を接着剤で丸く繋げて制作した試作機でした。

この試作機が、顧客から高評価を受けたのを契機として、それから徐々に設備の製作を受注させて頂く事になり、『システム開発部』は、創業10年目の昭和60年より、正式に事業部として対外的に営業を開始する事となりました。

3. ご要望への挑戦と経験からの学び

その後、えびの市へUターンしたソフトウェア技術者などの人材も入社し、ウィンドウズの普及によって、設計の作業効率が格段に向上したことにも助けられ、顧客の様々なご要望に対応が可能となり、省力化機器とソフトウェアの開発にも挑戦できるようになりました。

「地元でも、やってくれる所がある」と口コミで酒造メーカーや誘致企業よりご注文を頂けるまでになれたそんな折、当社が所属する霧島工業クラブの産学官連携事業として、都城工業高等専門学校や地元の食品加工会社との共同による「ラッキョウ自動切断装置」の開発に挑戦す

る事になりました。

ラッキョウは、収穫後に根茎部の根っこを切断する「端切」を手作業で行わなければならない、高齢化などで作業者の確保が厳しい時代となり自動化が求められていました。しかし、ラッキョウの形状は一つ一つが大小不揃いであり曲がっている為、自動化への壁は高く、それまで自動化の成功事例はありませんでした。



試作したラッキョウ自動切断装置

切断する位置を自動的に認識できる「画像処理技術」に開発の主眼を置き、工夫を重ねたところ、最終的には切断の成功率を90%程まで高められました。



左側が切断成功 右側上下が切断失敗

これらの貴重な経験から、技術やコストなど多くの事を積極的に学ばせて頂いたおかげにより、現在では10名のエンジニアを揃えるまでになりました。

設計・組立・販売の中に、独自のソフトウェアの開発がプラスされたことで、競合他社との差別化が図られ、当社にとりまして、とても頼れる存在にまで成長しています。



省力化機器の組立作業風景

4. 将来展望

『システム開発部』では、今後更に少子高齢化が進む状況をビジネスチャンスと捉えています。IoTの技術を積極的に学び、取り入れ、これまで培った技術を生かし、県内外への積極的な受注拡大を目指してゆきたいと考えています。

当社全体としましては、少子高齢化による労働力不足、近年の製造業の衰退や海外への生産拠点の移転などに強い危機感を抱き、対応に迫られています。

今後も地元で事業を継続してゆくには、変動してゆく市場や世の中の動きに柔軟に対応せねばなりません。対応の可否には経営判断も重要ですが、どれだけ多く優秀な人材を社内で抱えて、より長く・より生き生きと働いてもらえる為の「快適な環境づくり」が最も重要だと考えています。

社内の声に応えた取組、とりわけ健康診断の充実や、働きやすい職場環境の整備を続けた結果、表彰や認定を受けるまでになりました。



- ・平成 28 年
宮崎県知事表彰 優秀健康長寿推進賞
(従業員とその家族の健康づくり部門)
- ・平成 29 年
厚生労働省 子育てサポート企業認定
(次世代育成支援対策推進法)

従業員の支えで受賞したこれらの荣誉を励みとして、挑戦を続けて参ります。そして今日も元気に働いている従業員からの口コミや後ろ姿を通じて、多くの地元出身の若者に共に働いてもらえたらと考えています。

今後も宮崎県の一企業として、地元と共に歩めるよう、更なる努力を続けて参ります。



本社工場にて